

平成 24 年 2 月 29 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は生産活動が低調に推移し、全体として厳しい状態が続いているものの、観光関連は引き続き好調であり、雇用情勢も緩やかに改善、個人消費は横ばいであるが一部に持ち直しの動きがみられる。

生産活動は、電子部品関連が低迷し、食品関連は伸び悩んでいる。個人消費関連は、大型小売店（百貨店・スーパー）販売額が前年並みとなった。新車販売台数（乗用車・軽自動車）は前年のエコカー補助金制度の反動減による影響がなくなったことや新型車投入効果により、5 カ月連続で前年を上回った。投資関連では、公共工事請負額、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数のいずれも前年を上回った。観光入り込み客数は、九州新幹線全通効果により前年を上回った。

【生産活動】 … 低調

電子部品関連は、円高の影響や海外との競争激化で厳しい状況が続き、受注の動きも依然弱い。

1 月の**生コン生産（出荷量）**は、公共工事向け、民間工事向け出荷ともに前年を下回り、全体で 2.6% 減と 6 カ月連続で前年を下回った。

12 月の**紙パルプ生産**は、2 カ月ぶりに前年を大幅に上回った。

木材関係は、住宅建設向け需要が低調なことから、製材品が生産、出荷ともに低迷している。

12 月の**焼酎生産**は前年を下回ったものの、出荷は前年を上回った。

12 月の**かつお節生産**は、2 カ月ぶりに前年を下回った。

【畜産関連】 … 低調

肉用牛（和牛）の枝肉相場は低調に推移している。一方で、子牛価格は宮崎など県外農家の子牛購入意欲が強く、前年を上回った。豚肉相場は、前年を下回っている。ブロイラー相場は供給過剰により、前年を大きく下回っている。また、鶏卵相場も前年を下回っている。

【消費関連】 … 横ばい

12月の大型小売店（百貨店・スーパー）販売は、飲食料品は前年並み、衣料品は前年を上回った。気温低下により、冬物衣料品の動きがみられた一方で、前年のエコポイント制度縮小前の駆け込みの反動も響き、全体では前年並みとなった。

1月の乗用車新車販売台数は、48.3%増となった。前年のエコカー補助金制度の反動減による影響がなくなったことや新型車投入効果により、5カ月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車は55.8%増、小型車は42.9%増となった。また、軽自動車は33.7%増と4カ月連続で前年を上回った。

【観光関連】 … 好調

1月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、12.4%増と8カ月連続で前年を大幅に上回った。鹿児島地区、指宿地区ともに九州新幹線全通効果などにより前年を上回った。特に指宿地区は関西・山陽など新幹線沿線や関東からの入り込みが伸び、篤姫ブームに沸いた09年とほぼ同水準となった。また霧島地区も関西や山陽、福岡からの入り込みが増え、前年を大幅に上回った。種子島・屋久島地区は、団体客が増加し前年を大幅に上回った。1月の主要観光施設入場者数は、九州新幹線全通効果により前年を上回った。

【投資関連】 … 一部で持ち直し

1月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を上回った。

12月の民間建築工事は、件数、床面積、工事費予定額いずれも前年を上回った。12月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲ともに前年を上回り、全体で26.5%増と4カ月ぶりに前年を上回った。1月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、2カ月ぶりに前年を下回った。

【貿易関連】 … 輸出は持ち直している

12月の**輸出額**は、タイヤ・チューブが前年を下回ったものの、半導体等電子部品が前年を上回り、全体で40.5%増と11カ月連続で前年を上回った。**輸入額**は、原油及び粗油が前年を下回り、全体で18.9%減と3カ月連続で前年を下回った。

【雇用情勢】 … 緩やかに改善

12月の**有効求人倍率**は、医療・福祉、卸売・小売業などで採用を増やす動きがみられ、前月と同水準の0.60倍と緩やかに改善している。ただ、正社員求人の割合が低く、有効求職者数が高水準で推移するなど、雇用情勢は依然として厳しい。

【金融情勢】 … 低調

資金需要は、総じて弱含んでいる。

【企業倒産】 … 件数は前年を上回った

1月の**企業倒産**は、件数が5件と前年同月（3件）を上回り、負債総額も15億57百万円と前年同月（9億48百万円）を上回った。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】 ㈱鹿児島地域経済研究所（TEL 099-225-7491）